



コンベンション誘致速報

当財団にて誘致活動をしてきた、以下の国際会議の東京開催が決定しました。

プラネタリーヘルス国際会議2027

【会期】2027年6月7日～11日 5日間 【会場】東京大学
【参加予定者数】約600名（うち海外より約200名）

第10回ライフサイクル土木工学に関する国際シンポジウム(IALCCE 2027)

【会期】2027年10月18日～21日 4日間 【会場】都市センターホテル
【参加予定者数】約550名（うち海外より約400名）

2028年世界弁護士連合会年次大会

【会期】2028年11月1日～4日 4日間 【会場】グランドニッコー東京 台場
【参加予定者数】約1,500名（うち海外より約1,000名）



MI 誘致に向けたクライアントイベント in ハノイを開催しました！

令和8年2月4日（水）、海外ミーティングプランナーとのネットワーク構築および東京のMI都市としての魅力発信を目的として、ベトナム・ハノイにてクライアントイベントを開催しました。

本イベントは、企業等の会議や報奨・研修旅行の誘致促進を目的に実施したもので、都内MI関連事業者9社と現地の有力バイヤー33社にご参加いただきました。近年著しい経済成長を遂げているベトナムでは企業活動の拡大に伴いMI需要が高まっており、東京への誘致に向けた直接交流の場として大変有意義な機会となりました。

当日は、都内MI関連事業者と現地ミーティングプランナーによる1対1の商談を実施しました。現地ミーティングプランナーからは「今後に繋がる良好な関係を築くことができた」といった声が寄せられ、都内MI関連事業者からも「通常の営業活動では接点を持っていないクライアントと商談することができた」等、双方から高い評価をいただきました。

また、ネットワーキングランチでは、終始和やかな雰囲気の中交流が進み、より深い関係構築につながりました。さらに、都内MI関連事業者のご協力により提供されたオリジナル景品は会場を大いに盛り上げ、景品を手にした現地ミーティングプランナーとの記念撮影の姿も多く見られました。



東京観光財団は、今回の成果を踏まえ、今後も海外MI市場の開拓と誘致活動の一層の強化に取り組んでまいります。



東京都MICEシンポジウム

～国際的な会議・イベントを誘致・開催する魅力とは!?～

2026年2月4日、東京都及び東京観光財団は、銀座の観世能楽堂にて令和7年度 東京都MICEシンポジウムを開催しました。MICE業界関係者に加え、一般の都民の皆様にも多数ご参加いただきました。今回は、「国際的な会議・イベントを誘致・開催する魅力とは!?」をテーマに、基調講演とパネルディスカッションの二部構成で実施し、伝統芸能の空間において文化とMICEを融合させた新たな可能性を提案する機会となりました。

第1部では、「MICEで広がるつながりと可能性」をテーマに跡見学園女子大学 准教授の守屋邦彦氏による基調講演を行いました。講演を通じて、参加者の皆様にはMICEの基礎をあらためて理解いただく機会となり、有意義な学びの場となりました。



画像提供：観世能楽堂

第2部では、MICEの現場で活躍する専門家3名と学生2名が「MICEと関わるシゴト」をテーマにパネルディスカッションを行いました。MICE就業体験プログラムに参加する学生が投げかけた質問を起点に、業界のプロフェッショナル3名とファシリテーターが議論を深める形式でディスカッションが進行されました。学生の率直な視点に、MICEの"現場で働くことのリアル"をお答えいただき会場を惹き込みました。



右から

古俣 美菜子 氏 (株式会社コングレ)

大和田 佳典 氏 (京王プラザホテル)

高橋 直樹 氏 (株式会社八芳園)

学生パネリスト：矢田 萌 氏 (杏林大学)

陳 可愉 氏 (多摩大学)

ファシリテーター：小島規美江氏

(MICE makes LINK 代表)

東京都MICEシンポジウム 続き

特別プログラムとして、重要無形文化財総合指定保持者であり、シテ方の第一人者として活躍する藤波重彦（ふじなみしげひこ）氏に、仕舞『放下僧 小歌』をご披露いただき、観世能楽堂ならではの深い趣が会場を包みました。またロビーでは能面や装束の展示が行われ、伝統芸能に触れていただける貴重な機会となりました。

東京観光財団は、今後も広くMICE誘致・開催の意義を広くお伝えし、有益な情報発信に努めてまいります。



詳細は[こちら](#)をご覧ください。



AIME 2026 (メルボルン)

- ・開催日：2026年2月9日～11日、Melbourne Convention and Exhibition Centre（オーストラリア・メルボルン）
- ・来場バイヤー数：5,000名以上（昨年4,586名）

2026年2月、東京観光財団はアジア太平洋地域最大級の見本市である「AIME2026」（2月9日～11日、オーストラリア・メルボルン）に東京ブースとして出展しました。

頭上には鮮やかな屏風ギミック、各商談デスク脇には社名・団体名入りのオリジナル提灯を配置し、華やかさとTOKYOの一体感を演出したブースデザインを採用し、都内の会議施設、ホテル、DMO、DMCから成る10の共同出展者と共にMICE誘致のための商談を実施しました。東京ブース内では、商談会初日にMICEバイヤー向けソーシャルイベントを実施し、手毬寿司や東京の地酒などを提供。また、「書道の実演ブース」も好評で数多くの現地プランナーとの商談・交流の機会を作り出しました。

共同出展者からは「例年より具体的な案件が獲得できた」「全体的にバイヤー側の東京に対する理解度が高い商談が多かった」など今後MICE誘致に繋がる肯定的な評価が寄せられました。

東京観光財団は、今回得られた成果を踏まえ、今後もさらなるMICE誘致に向けて積極的に取り組んでまいります。





MICEグローバル人材育成講座（実践）を開催

2026年1月13日より2日間、都内のMICE関連事業者を対象に「MICEグローバル人材育成講座（実践）企業等の会議、報奨・研修旅行編」を開催しました。

本講座では、「変化し続ける企業等の会議、報奨・研修旅行の誘致・開催成功に必要なスキルとは」をテーマに、海外から招請した専門家を講師に迎え、実践的な研修プログラムを実施しました。プログラムでは、AIを活用した資料作成やデータ分析、ウェルネスの多様な要素を取り入れたイベントデザイン、インプロ（即興演劇）のメソッドを活用したコミュニケーション方法など、現場で活かせる内容を幅広く取り上げました。さらに、グループワークやディスカッションを通じて、企画提案力の向上につながる実践的な学びの機会も提供しました。また、初日の夕方にはネットワーキングを実施し、参加者同士の交流、横のつながりを深める情報交換の場を設けました。

参加者からは、「研修で知ったAIを早速活用している」「MICE×ウェルネスについて新しい視点を得られた」「グループワークやネットワーキングを通じて業界内での新たなつながりが生まれた」といった声が寄せられ、本講座は盛況のうちに終了しました。

財団では、MICE都市・東京のさらなるプレゼンス向上と誘致競争力の強化に向け、今後もグローバルに活躍できる人材の育成支援に積極的に取り組んでまいります。



会場の様子



グループワークの様子



集合写真

**BUSINESS EVENTS
TOKYO**

本記事についてのお問い合わせは以下へご連絡下さい。

(公財) 東京観光財団 コンベンション事業部
Email : businessesvents@tcvb.or.jp
<https://jp.businessesventstokyo.org>



賛助会員限定ページに他の記事等も限定コンテンツを掲載しております。是非ご活用ください。
 ＊パスワードがご不明の場合には、賛助会員担当までメールにてお問い合わせください。